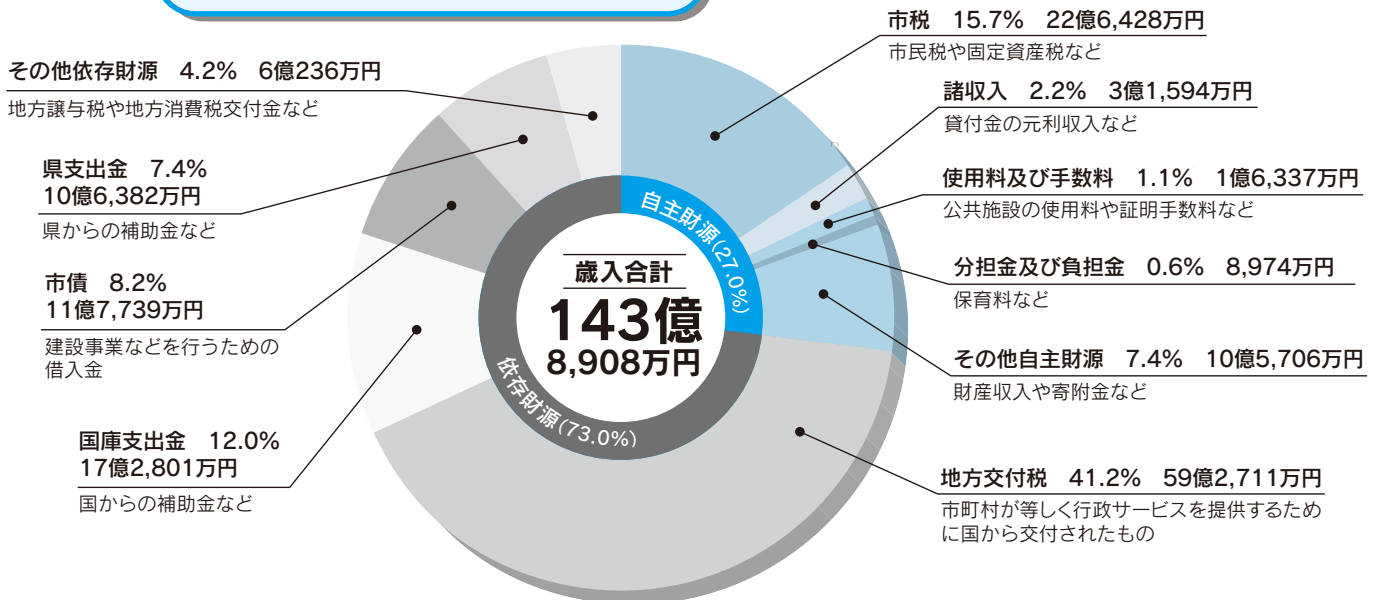


平成29年度決算報告 市の家計簿をチェック

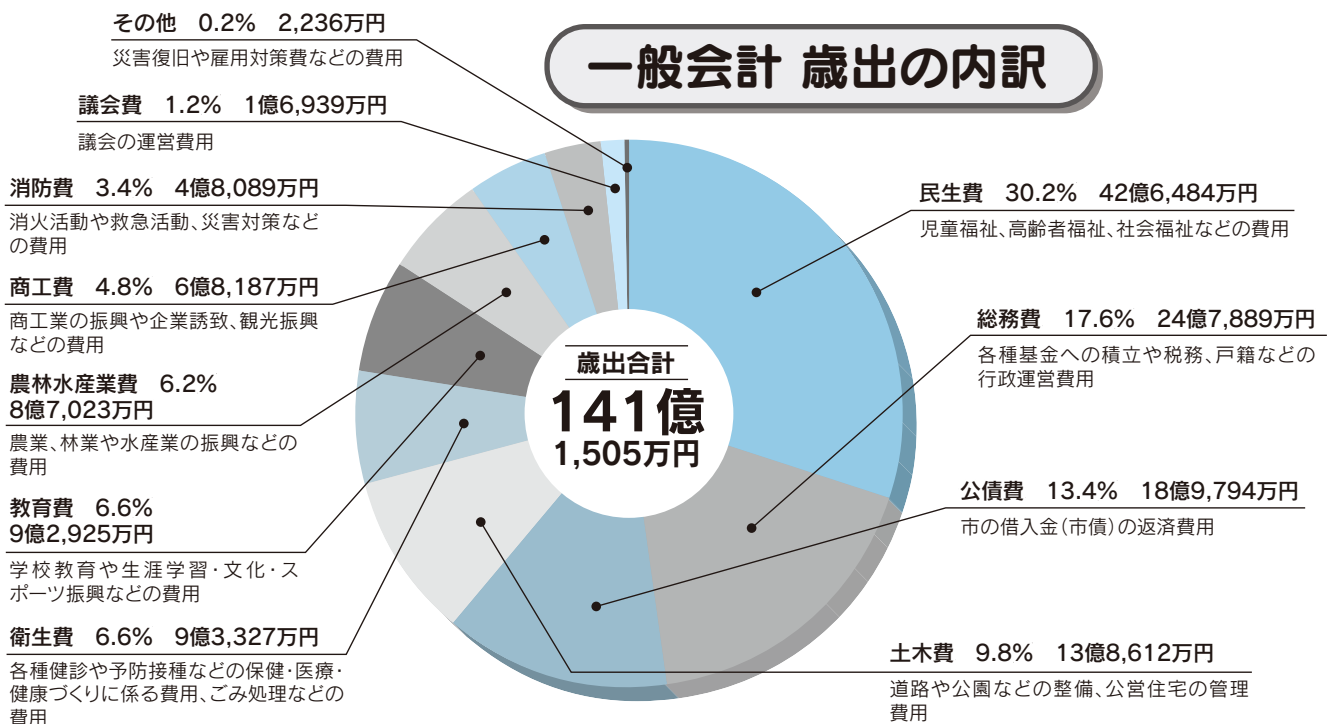
平成29年度の一般会計の歳入歳出決算は、歳入が143億8,908万円(対前年度比5.3%の減額)、歳出が141億1,505万円(対前年度比3.3%の減額)でした。

形式収支(歳入から歳出を差し引いた収支額)の2億7,403万円から、翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた実質収支は、2億7,402万円となりました。

一般会計 歳入の内訳



一般会計 歳出の内訳



※平成29年度末住民基本台帳人口 22,861人
※金額や比率は一部端数を調整しています。

特別会計の決算状況

区 分	歳 入	歳 出
国民健康保険	35億4,264万円	33億4,312万円
後期高齢者医療	3億2,768万円	3億2,726万円
介護保険	26億4,724万円	26億1,993万円
簡易水道事業	8,890万円	8,789万円
公共下水道事業	6億2,150万円	6億2,150万円
特定環境保全公共下水道事業	2億592万円	2億592万円
農業集落排水事業	3,276万円	3,276万円
漁業集落排水事業	1,214万円	1,214万円
ケーブルネットワーク事業	6億9,969万円	6億9,969万円

市債(借入金)の状況

区 分	現在高(平成29年度末)
一 般 会 計	169億2,822万円
簡 易 水 道 事 業	3億9,406万円
公 共 下 水 道 事 業	35億8,750万円
特定環境保全公共下水道事業	11億4,428万円
農 業 集 落 排 水 事 業	1億8,178万円
漁 業 集 落 排 水 事 業	2,755万円
ケーブルネットワーク事業	16億2,659万円
合 計	238億8,998万円

【市債】

市が資金の借入れによって負う債務で、複数年度にわたって返済をするものをいいます。家計に例えると、住宅ローンや自動車ローンなどの借金にあたるものです。

この借入金には、地方交付税等が補てんされる予定ですので、実質的な市民1人あたりの市債は、約26万円となります。

水道事業会計の決算状況

【損益計算書】

費用 2億292万円			当年度純利益 3,849万円	収益 2億4,141万円		
営業費用 1億9,042万円	営業外費用 1,250万円	特別損失 0円		営業収益 2億279万円	営業外収益 3,676万円	特別利益 186万円

【貸借対照表】

借方 24億648万円		貸方 24億648万円				
固定資産 21億6,699万円	流動資産 2億3,949万円	固定負債 5億9,436万円	流動負債 5,502万円	繰延収益 3億7,950万円	資本金 11億667万円	剰余金 2億7,093万円

基金(積立金)の状況

区 分	平成29年度末基金残高
一 般 会 計	121億3,929万円
特 別 会 計	3億107万円
定 額 運 用 基 金	4億5,871万円
合 計	128億9,907万円

【基金】

条例によって定められた、特定の目的のために使う資金(積立金)です。家計に例えると、貯金のようなものです。

市民1人あたりの基金は、約56万円です。

主な財政指標

(単位:%)

指 標	平成29年度		平成28年度		
	豊後高田市	県内市町村平均	豊後高田市	県内市町村平均	
①経常収支比率	95.0	94.5	92.6	93.1	
健全化判断比率	②実質赤字比率	赤字なし	赤字なし	—	
	③連結実質赤字比率	赤字なし	赤字なし	—	
	④実質公債費比率	8.0	6.2	7.5	6.2
	⑤将来負担比率	将来負担なし	4.6	将来負担なし	2.7
⑥資金不足比率(6企業会計すべて)	資金不足なし	—	資金不足なし	—	

用語説明

①経常収支比率

人件費などの経常的な経費の経常的な一般財源に対する比率

②実質赤字比率

一般会計等を対象とした実質赤字額の標準財政規模(※)に対する比率

③連結実質赤字比率

全会計を対象とした実質赤字額(又は資金不足額)の標準財政規模に対する比率

④実質公債費比率

一般会計等が負担する地方債元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模に対する比率

⑤将来負担比率

一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率

⑥資金不足比率

公営企業ごとの資金不足額の事業規模に対する比率

※標準財政規模

地方公共団体の一般財源の標準規模を示す指標